



○【熊本募金】で市長訪問

4月14日に発生した熊本地震に際し、「遠く離れた大井中から、何かできることはないか」と本部発案で校内やふじみ野駅前にて計5日間行った【熊本募金】。この義援金受け渡しのため、6月20日にふじみ野市役所を訪問し、高畑市長に報告してきました。

私たちの活動による義援金の合計金額は、28万8448円です（この義援金はふじみ野市役所から日本赤十字社を通じ、熊本県、大分県に送られます）。皆さん本当にご協力ありがとうございました。この活動の写真を含めた、【熊本募金活動】が市報で取り上げられました。

※ふじみ野市では、市役所を含む16か所で熊本募金を受付けています（H28 3月31日まで）。こちらのご協力もよろしくお願いします。

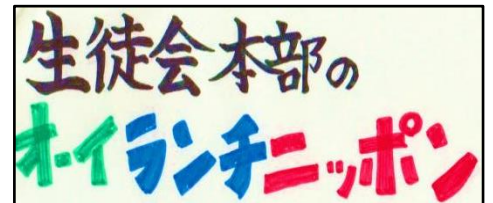
○【第1回・放送後記】ラジオ企画

「生徒会本部と生徒皆さんとの距離を近づける」ため、約1カ月かけて第70代生徒会本部らしいアプローチをしました。

企画【大井中アレコレ】では、「大井中のスペルはOIなのかOHIなのか」問題（制服では前者、ジャージ体育着では後者になっている）と『お〜い森のくまさん』のタイトルはどこから来たのか」問題を取り上げました。複数人の生徒や先生方からの反響もあり、嬉しく思いました。皆さんはどう考えますか？

その思いをぜひ、教えてください。「大井中が皆さん一人ひとりにとって大切な学校になる」には、まず大井中について私たちが考えることから始まると思います。つたないトークでしたが、ご清聴ありがとうございました。

さて第2回は、日付は未定ですが実施予定を予定しています。しばしお待ちを。



○生徒会本部の夏休み

生徒会本部は夏休みも活動が2つありました。

1つ目は8月6日上福岡七夕祭りにおいての、竹飾りの審査です。祭り実行委員の方々や、ふじみ野市内全ての中学校から数名ずつ選ばれた総勢20名ほどで行われ、大井中からは本部書記・澤井が一人で行って来ました（笑）。炎天下の中、約4時間審査をして本当にへとへとになりました。しかし、それ以上に竹飾りが美しくて事業所の皆さんの熱意が伝わりました。また、七夕祭りを裏側から体験する貴重な体験でした。みなさんは七夕祭り、行きましたか？

2つ目は8日に行われた「生徒会交流会」です。大井中・大井東中・大井西中の3校の生徒会が活動を報告しあうというもので、普段知ることのない他校の活動を知ることができ、非常に刺激的でした。この模様について、第2回オイランチニッポンにて詳しくお話していく予定です。

生徒会本部として、この夏休みは有意義なものとなりました。これらの経験を活かし、「学校に行きたくなる学校づくり」をより加速して、あと少しの任期を全力でやりきります。ご協力よろしくお願いします。

【インタビュー連載企画】 ワタシの大井中（2）：石岡 健 先生

——様々な人へのインタビューを通し、『大井中とは何なのか』を見つけていく——

澤 井) よろしくお願ひします。

石岡先生) よろしくお願ひします。

澤 井) 早速ですが、先生は以前にも大井中にいらっしゃったとお聞きました、当時の大井中はどんな学校でしたか？

石岡先生) 私が教師としてこの学校に来たのは1977年、大井中が大井西中と分離した翌年でした。そのときの大井中には「業間体育」というものがありました。

小学校のころ、2～3時間目の休み時間が業間休みでしたよね？ それと同じようなものが昔の大井中にもありました。当時は校庭側の住宅街が竹林で、毎日、業間休みのときはそこで20分間走り続けました。

澤 井) えっ、なかなかのスパルタ学校ですね（笑）

石岡先生) 体力向上の一環として始めたのですが、先生にも生徒にも不評で2年目にはなくなりました（笑）

澤 井) なるほど。次に、大井中で一番印象に残っていることはなんですか？

石岡先生) そうですね、一番の思い出は、当時3年4組を担当したときに、クラス全員で8mm映画を製作したことです。キャスティングや脚本もすべて手づくりでした。校外でロケもしました。

当時は今のように家庭用ビデオが普及してなくて、8mmフィルムでの撮影・編集だったので… 本当に大変でした（笑）それを文化祭にも出品しました。

澤 井) 凄いですね。文化祭はたしか【おおとり祭】でしたよね。

石岡先生) そうです、毎年11月に大々的に開催していました。文化部の発表のほかに、各クラスが作品を出品してコンクールを行い、最も優れたものを【おおとり賞】として讃えました。私たちの映画も、これを受賞したのです。

澤 井) なるほど。あ、その【おおとり賞】は現在の合唱祭のやつですか？

石岡先生) そうですよ。元々は文化祭の最優秀賞としてつくられた賞が、現在の合唱祭の賞になっています。あの賞状楯で受賞したのは、私たちのクラスが最初で、実はあの楯には当時のクラスの名前も載っているんですよ。そんな3年4組があったのが現在の第2美術室で、今もそこを通ると懐かしい思い出がよみがえってきます。

石岡先生) 私の教職人生は、大井中をスタートに、さまざまな中学校を経て、東原小学校でピリオドを打ちました。

澤 井) 東原小では僕もお世話になりました。

石岡先生) そうでしたね。そうそう、東原小では当時大井中で教えた生徒たちが保護者になっていたり、地域で活躍していたりと、嬉しい再会がたくさんありました。

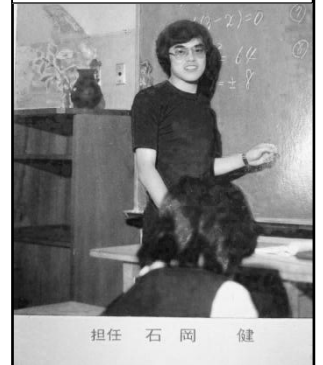
澤 井) そうだったんですね。それでは最後にお聞きます。石岡先生にとって、大井中とは何ですか？

石岡先生) ワタシにとっての大井中は「教師としての原点であり、ふるさと」です。

教職人生1年目を大井中で迎え、再スタートもここで迎えました。まさに巡り合わせですね。この大井中でまた生徒や先生方と同じ時を刻めることをとても幸せに思っています。



↓当時の石岡先生↓



担任 石岡 健